

愛知教育大学と丹葉地区3市2町教育委員会の相互連携に関する協定書

愛知教育大学（以下「甲」という。）と丹葉地区3市2町教育委員会（以下「乙」という。）は、相互の人的・知的資源の交流を図り、多様な分野で協力していくために協定を締結する。協定を締結する丹葉地区3市2町教育委員会とは、犬山市、江南市、岩倉市、大口町、扶桑町の各教育委員会である。

（目 的）

第1条 本協定は、子どもの健やかな成長及び教職員の資質・能力の向上並びに学生の実践力育成等において、相互に協力し、学校教育の発展と人材の育成に寄与することを目的とする。

（連携事項）

第2条 前条の規定に基づき実施する事項は、次のとおりである。

- （1）子どもの健やかな成長に関すること
- （2）教職員の資質・能力の向上に関すること
- （3）学生の実践力育成に関すること
- （4）現代的教育課題に関すること
- （5）その他甲・乙双方が必要であると認めること

（連携推進協議会）

第3条 前条各号に掲げる連携事項を円滑に推進するために、甲・乙双方の関係者による協議の場として、必要に応じて愛知教育大学・丹葉地区3市2町教育委員会連携推進協議会を設置する。

（連携方法）

第4条 甲及び乙は、それぞれ連携窓口を設置し、連携協力を推進するための必要な連絡調整を行う。研究連携に当たっては、それぞれの職員の派遣や受入、施設・設備等の利用について、業務に支障のない範囲で便宜を供し実施するものとする。

（経 費）

第5条 前条に規定する連携実施に当たり、研究に係る経費については各機関が負担する。
2 前項の規定にかかわらず、職員の派遣経費は、要請した側が負担する。

(守秘義務)

第6条 甲・乙双方は、本協定に基づく活動において、相手側から知り得た秘密事項について、本協定有効期間中及び有効期間終了後を問わず、決して第三者に対し開示又は漏洩してはならない。ただし、相手方の承諾を得ている場合は、この限りでない。

(有効期間)

第7条 本協定は、締結の日から効力を発し、有効期間は1年間とする。ただし、有効期間満了の3ヶ月前までに甲・乙いずれからも改廃の申し入れが無いときは、さらに1年間更新するものとし、その後も同様とする。

(その他)

第8条 本協定に定める事項に疑義が生じたとき、又は本協定に定めるものの他に合意すべき事項が生じたときは、甲乙協議の上、新たに定めるものとする。

本協定の締結を証するため、協定書を6通作成し、甲の長及び乙の各教育長がそれぞれの署名の上、甲及び乙の各教育委員会が各1通を保有するものとする。

令和2年12月24日

甲 愛知教育大学長

野田 敦 敬

乙 丹葉地区3市2町教育委員会

犬山市教育委員会教育長

滝 雄

岩倉市教育委員会教育長

野木 森 広

扶桑町教育委員会教育長

澤 木 貴 美 子

江南市教育委員会教育長

村 良 弘

大口町教育委員会教育長

長屋 孝 成